

つつじバス運行ダイヤ(令和4年4月1日改正案)の主なポイント

◆現状

平成29年度に再編した運行ダイヤは、市民の方々の要望をすべて応えるために高齢者支援に加えて通勤・通学を支援した通学便や市内観光を支援した幹線を導入し、17路線82便(うち通学便は17便)で運行してきた。結果として、すべてのことに対応しようとしたために、非常に複雑で入り組んだダイヤ編成となった。

◆基本コンセプト

令和4年度からは、通勤・通学支援や観光支援をいったん整理し、市民の生活に根差したシンプルで利用しやすくわかりやすい運行ダイヤ、特に高齢者の足の確保に重点を置き、バス8台で9路線67便の運行ダイヤに再編し、利便性の向上を図っていく。

1 循環線の2起点(神明駅、JR鯖江駅)における定時刻発運行ダイヤ⇒高齢の方が覚えやすいダイヤ

①運行時間は8時から19時(土日の運行ダイヤは9時から17時30分)とする。

JR鯖江駅00分発＝神明駅＝10分時間調整後＝JR鯖江駅50分着、51分着

- ・所要時間 A 18分 JR鯖江駅＝アルプラザ経由＝神明駅
- B 22分 神明駅＝丹南病院経由＝JR鯖江駅

メリット

JR鯖江駅を00分発とする(右回り左回りとも)ことで高齢者に配慮した覚えやすいダイヤ編成となる。2起点(JR鯖江駅、神明駅)のバス停に行けば、右回りおよび左回りの路線に乗車でき、利便性の向上につながる。

②「循環線」の増便⇒1便増

- ・19便→20便
- ・「右・左まわり」表示を廃止し、経由地を表示する(丹南病院経由、アルプラザ経由)。

2 「幹線」の廃止⇒運行経費の効率化

キロ当たりの乗車人数が極端に低く、非効率的であったため廃止する。

3 「鯖江南・新横江線」の一部区間廃止

- ・循環線との重複により、JR鯖江駅＝本町1丁目＝ポケットパーク前＝鯖江公民館＝西鯖江駅前＝嚮陽会館の区間を廃止する。
- ・「新町市営住宅前」バス停の新設

- 4 「神明線」一部乗り入れ
・「アルプラザ・さばえ」バス停まで2便乗り入れる。
- 5 「片上・北中山線」を「片上・中河線」に名称変更
・中河小学校＝北中山公民館＝今北山古墳群の区間を廃止し、高年大学＝乙坂今北の区間に経路短縮
・「今北山古墳群」バス停の廃止
- 6 「立待線」、「吉川線」の区間延長
・「神明駅」および「神明苑」止から一部の便を「北鯖江駅東口」バス停まで延伸
- 7 「吉川線」の一部区間廃止
・小泉団地＝西公園前＝石田中＝小泉の立待線との重複区間を廃止する。
- 8 「豊線」の一部区間廃止
・熊田＝丹南高校の区間を廃止（丹南高校閉校による）
- 9 「中河・北中山線」の一部区間廃止
・上戸口北＝上戸口の区間を廃止し、「上戸口」バス停を刀那清水駐車場内へ移動
- 10 「中河・北中山線」および「河和田線」の利便性向上
・ハニー東陽店で1時間程度の買い物ができるよう、運行経路およびダイヤを調整
- 11 「河和田線」の区間延長
・「筋生田」バス停の新設
- 12 高年大学便の廃止⇒スクールバス化
河和田線、中河・北中山線でひげ線として延伸するなど、平成18年度から対応してきたが、定期券申込者の減に伴い、路線上有るものは維持しつつ、定期定時路線としての乗合バス運行からスクールバスとしての貸切バス運行に転換を図る。
・定期券販売の廃止、PMのクラブ活動対応の廃止
・片上・中河線の高年大学バス停は路線上有るため維持
- 13 通学便の廃止
・市内高校ルート（丹南高校閉校による）

- ・通学便河和田ルート、片上・北中山ルート、立待ルート、吉川ルート、豊ルート、中河・北中山ルートの廃止

14 土日祝運行便数の拡充

利用者アンケートにより、土日祝日の運行本数を拡大する。

- ・循環線 8便/19便運休→3.5便/20便運休
- ・鯖江南・新横江線 1便/4便運休→1便/4便運休【現状維持】
- ・神明線 2便/5便運休→1便/5便運休
- ・片上・中河線 2便/5便運休(高年除く)→1便/5便運休
- ・立待線 2便/5便運休→1便/5便運休
- ・吉川線 3便/6便運休→1便/6便運休
- ・豊線 2便/5便運休→2便(高専便含む)/6便運休
- ・中河・北中山線 3便/9便(往路復路それぞれカウント)運休→1便/8便運休
- ・河和田線 4便/10便(往路復路それぞれカウント、高年除く)運休→3便/16便運休